



神奈川県立相原高等学校 養牛部 酪農の未来を救い隊

神奈川県相模原市緑区橋本台4丁目2-1

魅力あるミルクで地球を救え
～私達の酪農救出計画～



現在の酪農産業の問題点として、酪農家が輸入飼料に依存していることに加え、ヒートアイランドによる牛への影響があります。そこで牛の暑熱対策と飼料生産、地域の環境保全が期待できる緑のカーテンを作成するために、成長が良く栄養価の高い四角豆を栽培しました。また、廃棄されてしまっていた初乳や生乳を発酵して牛乳肥料を作成しました。これを土壌に散布した結果、エンバクの収量増加が確認できました。

これらの活動を普及するため、近隣にある小学校で児童とともに緑のカーテンの作成や四角豆を使ったエサやり体験を行い、酪農の魅力や食といのちの関わりについての学びを深め、環境に対する意識を高めてもらうことができました。